

春播きトウモロコシ「スノーデント 115 ポラリス」、夏播きトウモロコシ「P3577」の熊本県における品種特性

「スノーデント 115 ポラリス」、「P3577」は、多収性および耐病性に優れ、熊本県におけるトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室（担当者：中村寿男）

研究のねらい

熊本県における飼料用トウモロコシについて、特定品種への偏りを防ぎ、新たな優良品種の早急な普及を図るため、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に、本県の奨励品種である「セシリア」「30D44」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 「スノーデント 115 ポラリス」の播種から収穫適期までの日数は、比較品種と同時期で、4月上旬に播種した場合、7月下旬から8月上旬に収穫できる（表 1）。
2. 「スノーデント 115 ポラリス」、「P3577」は、比較品種と同程度の耐倒伏性が期待できる（表 2）。
3. 「スノーデント 115 ポラリス」、「P3577」の病虫害への抵抗性は、比較品種と同程以上である（表 2）。
4. 「スノーデント 115 ポラリス」、「P3577」は、比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である（図 1）。

※比較品種：過去 3 年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種（春播き品種は「セシリア」、夏播き品種は「30D44」）

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 生育特性に関する調査結果

播種時期	品種名	相対熟度	播種から収量期までの日数	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高／稈長
			日	極不良1～極良9	cm	cm	%
春播き	115ポリス	115	117.3	6.1	254.3	115.5 **	45.6 *
	セシリア	115	117.3	6.4	239.1	131.5	55.2
夏播き	P3577	135	105.0	5.6 *	262.1	120.5	45.9
	30D44	135	105.0	6.6	241.7	122.7	50.7

- 1) 播種期は、春播き2011年4月7日、2012年4月5日および2013年4月3日。
夏播き2011年8月1日、2012年8月2日、2013年8月6日。
- 2) 数値は調査年(2011年、2012年、2013年)の平均。
- 3) 施肥量は、N:1.5kg/a、P2O5:1.5kg/a、K2O:1.5kg/a。
- 4) 標準品種は「セシリア」「30D44」。
- 5) 記号は、比較品種との比較における有意差の有りを示す(**:p<0.01、*:p<0.05)
- 6) 収量調査は、春播き品種は黄熟期、夏播き品種は11月15日を目安に実施した。

表2 耐倒伏性および病害抵抗性に関する調査結果

播種時期	品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉枯病	べと病	さび病	紋枯病罹病率
		%	%	%	無1～甚9	無1～甚9	無1～甚9	%
春播き	115ポリス	0.0	0.9	0.9	1.6	2.6	1.0	5.8
	セシリア	0.4	1.7	0.6	4.0	2.1	1.0	1.6
夏播き	P3577	3.5	0.3	0.0	0.7 *	1.0	1.0 *	0.0
	30D44	1.9	0.9	0.2	0.9	1.0	2.0	0.0

- 1) 数値は調査年(2011年、2012年、2013年)の平均
- 2) 記号は、比較品種との比較における有意差の有りを示す(*:p<0.05)

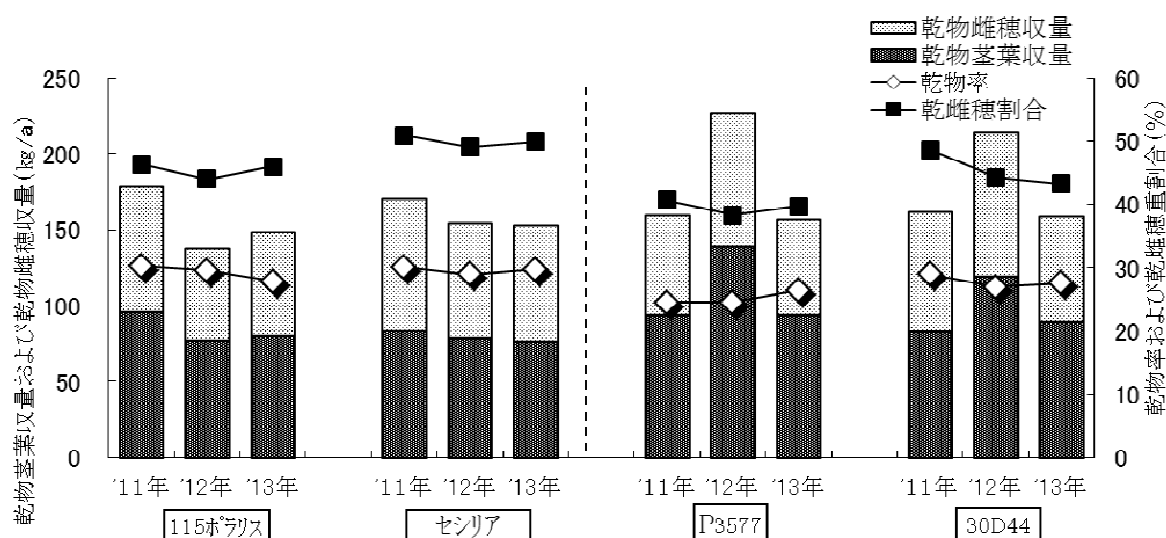


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量・乾物雌穂収量・乾物率及び乾物雌穂割合